

と きじき、出版社の志の高さに触れて、目がくらむ思いがすることがある。

先日、童話屋の田中和雄さんとお話ししたときがそうだった。

「日本には幼い子どものためのいい選詩集がない、いずれだれかやらなくてはいけない」

そう話されたのは、故瀬田貞二さんと、四半世紀も前のことだった。

「年のいかないうちも私たちは、彼らの心を躍らせてくれる楽しい領域の詩をまですたっぷり与えたい。自然界の不思議、美しさを満喫させてくれる詩的世界——編者はそのなから最も美しく、みずみずしく、わかりやすいものを探し出してくれば、それはそのまま子どもの詩の心を喚起することになる」

この瀬田さんの思いは、ついに結ばれなかった。

田中さんは、瀬田さんが書かれた『幼い子の文学』（中公新書）を読まれたときから、「いつかばくばく幼い子どもたちのための選詩集を編む力がついたとき、その編者にほぐがなる」と、志を強く決心しておられた。それが実現化する。



幼い子の詩集 パタポン① 田中和雄 編 童話屋 本体価格 1250円 4月19日発売予定	00 Point
『ありすぎる性欲、なさすぎる性欲』 ウイリー・バジーニ 草思社 本体価格 1500円 4月10日発売	85 Point
『江戸の恋』 田中優子 集英社 本体価格 680円 4月17日発売	80 Point
『メダカが田んぼに帰った日』 金丸弘美 学習研究社 本体価格 1200円 4月下旬発売予定	70 Point
『40歳からの都会2田舎8の生活術』 西川栄明 講談社 本体価格 780円 4月20日発売予定	70 Point

タイトルは、『パタポン①』（童話屋）。『まりーちゃんといつじ』（岩波の子どもの本）に出てくる羊の名前である。

「はるのさんぽ」まど・みちお／「のはな」谷川俊太郎／「池のきしべで」A・A・ミルン／「影」与田準一／「思い出」ウイリアム・アリンガン／「もくてきち」A・A・ミルン／

ステキだった。小さな、キレイな函のなかに、見たことのない宝石たちが光り輝いている。帯にこう書いてある。

「お父さん、お母さん、子どもたちと一緒に、うたって、よんで、遊んでください。子どもの心にもともと備わっている詩の心が呼びさまされ、子どもたちはたちまち覚えて、口ずさむこ

「尺取虫」竹久夢二／「あしおと」大木実／「さくら」まど・みちお／「へのへのもへじ」川崎洋／「けんかならこい」谷川俊太郎／「いそがしい」A・A・ミルン／「はだか」若山牧水……。

小生は、ゲラを読ませていただく幸運に恵まれた。なんとも

とでしよう」

初心から二〇年、この『幼い子の詩集 パタポン』第一集は、『声に出して読みたい日本語』をはじめとする齋藤孝さんの本が売れている背景もあり、スバラシイ日本語に飢えていた現代人に受け止められる。100ポイント。

★「私たちは消費主義に毒され、バランスのとれた性のあり

方を見失ってしまった……」

『ありすぎる性欲、なさすぎる性欲』（草思社）は、男と女の関係を、もう一度、血の通ったものにするにはどうしたらいいのかを指南する本だ。売れる定番「SEX」に加え、「身近」を満足しているから、安定して売れるが、「性欲」とタイトルに入ると、読者は買いにくくないだろうか。85ポイント。

★「恋を入りに口を語り、江戸を入りに口を語る。初恋、恋愛、性愛、心中、めおと……」

『江戸の恋』（集英社）とは、イイ書名だ。美人が恋について書くと、さまになる。定番とネームバリュー、新書の気安さで衝動買いされる。80ポイント。

★田んぼと自然と、人の物語。

『メダカが田んぼに帰った日』（学習研究社）は、本当の自然との共存を考えるオススメ本。

「田んぼを耕さず、おいしく安全な米が豊富に穫れる驚異の農法『不耕栽培』。ところがこの農法、単なる収穫増が望めるだけではなかった。なんと、田んぼに「自然」を回復させた」のだった。メダカが大量にふ化し、野鳥が戻ってきた。メダカで売れる。70ポイント。

★『40歳からの都会2田舎8の生活術』（講談社）は、なによりも、読者のあこがれに答えている。タイトルもよくて、70ポイント。

新刊フラッシュ

「トップに学ぶ」
テレビ東京「Keynote」編
ワニブックス 本体価格二五〇〇円
経済番組「Keynote」をもとに加筆。オリックス・宮内義彦会長、松井証券・松井道夫社長、日本郵船・草刈隆郎社長など四五人の企業リーダーの発言には、ビジネス成功へのキーワードが隠されている。

「下請けやめて」ツチをぎせせ!!
日比明
ウエッジ 本体価格一八〇〇円
自動卵割り機のミタカ電機、小型野菜調理器の千葉工業所など、オンライン技術で隙間産業を開拓する二ツチ企業の秘密を公開。不況知らずの超優良企業レポート。

「戦略経営コンセプトブック」
ブーズ・アレン・アンド・ハミルトン編
東洋経済新報社 本体価格一九〇〇円
一〇〇年の今にも通用する経営学の戦略的コンセプトを説く。チェンジリーダーの本質論から始まっている。変革の時代には、社内の各階層に「熱烈リーダー」の存在がどれだけいるかで勝負が決まるからだ。

「企業価値を高める戦略財務リポート」
工藤聡生、小林一郎
かんき出版 本体価格二二〇〇円
バブル期にもはやされた、いわゆる財務テクではなく、成長ステージやグループ再編といった企業の実態に合わせた財務手法を考える。財務担当者以外にもわかるよう、その戦略的活用方法をケースをもとに解説。

「資金ゼロでも独立・開業できる本」
片岡勝
ダイヤモンド社 本体価格一五〇〇円
郊外の住宅地、人口一万人にも満たない田舎町に暮らす、ごく普通の人が起業している。全行赤字の大手銀行を尻目に、一〇〇件の新規事業に融資してきた東京市民バンクは、貸倒れゼロを誇る。産業構造の変革はまず市民から、と語るガイド。